

村井ひでき 通信 第33号



homepage



facebook



twitter



地元衆議院議員の村井英樹です。多くの皆様のご尽力で、新型コロナワクチン接種が本格化してきました。本号では、ワクチン接種の促進に向けた取組や、河野太郎ワクチン担当大臣との対談を掲載します。

河野太郎大臣と連携、ワクチン接種の促進に全力

医療機関での個別接種を ワクチン接種ルートの中核とするよう提案

2月16日の予算委員会で、自民党コロナワクチンプロジェクトチームを代表して質問。2月時点では、メインの接種ルートとして想定されていなかった診療所での個別接種を接種ルートの軸とすることを提案し、河野大臣からも前向きな答弁を引き出しました。その後、診療所での体制整備は進み、全国で1日約60万～80万回、診療所での接種が行われています。

2月16日予算委員会（抄録）

河野太郎ワクチン担当大臣との質疑

村井：現在、接種体制については、自治体の集団接種を軸とすると認識しているが、接種ルートの多様化を通じて効率的な接種が必要。

具体的には、高齢者の方は、基礎疾患をお持ちの方も多く、集団接種よりも医療機関による個別接種の方が、既往歴の把握も容易で、副反応への対応などもしやすいため、集団接



種に加えて、医療機関の個別接種を接種ルートの軸の一つに加えるべき。

河野：当初は、ファイザー社のワクチンは、マイナス75度での輸送・保管が必要で、小分けが難しいという話だったが、小分けの了解が取れた。自治体によっては、既に診療所などにおける個別接種も計画しているが、各自治体で、しっかりと進めて頂きたい。

全国初！北浦和に 埼玉県主導のワクチン接種センターを開設

河野大臣から、モデルナ社製のワクチンの扱いについて、相談を受けたことがきっかけとなり、埼玉県主導の大規模接種会場の開設に取組みました（詳細は裏面参照）。さいたま市などの基礎自治体が、ファイ

ザー社製ワクチンを使って、個別接種や集団接種を実施することに加えて、都道府県が直接管理する大規模接種会場を、全国に先駆けて開設。迅速にご対応頂いた、大野埼玉県知事や県議会の皆さんに感謝です。



医療機関での個別接種 報酬引き上げに尽力

当初、診療所でのワクチン接種の報酬は、1回あたり2070円でした（時間外・休日は加算あり）。ただし、地元の診療所から、患者さんに対応しつつ、ワクチン接種も行う

のは、スペース・手間・コストも相当かかるので難しい旨を伺い、河野大臣に、接種報酬の増額の必要性を説明。その結果、積極的に接種を進める診療所については接種報酬が大幅に増額となり、急速に診療所での個別接種が進むきっかけとなりました。（詳細は裏面参照）

3つ星議員に選出！

政策NPO 万年野党の三つ星議員（特別表彰）に選ばれました。選定理由は「社会保障など諸分野での政策立案への貢献で多くの同僚議員の方々から推薦されたから」とのことでした。三つ星議員は、基本的に野党議員



の方向けの表彰ですが、与党議員にも関わらず、地道な活動をご評価頂き、特別表彰を頂きました。

職場での ワクチン接種を推進

現役世代の職場でのワクチン接種について、2月の予算委員会で、その必要性を指摘し、河野大臣からも、検討していく旨の答弁を頂きました。その後、河野大臣・健康保険組合の皆さんとも内々検討を重ね、産業医の皆さんをどう確保するか、接種券なしでも接種するためにどうするかなど、ボトルネックを一つひとつ取り除き、現役世代向けに職場での接種が実現しました。

2月16日予算委員会（抄録）

河野太郎ワクチン担当大臣との質疑

村井：企業で働く方については、健康保険組合など職域での接種ルートを構築して、例えばオフィス内でワクチン接種できるようにしていくべき。

河野：高齢者の後、若い世代の接種が始まるときにはどうしたらよいか、職域での接種を含めて、今後の在り方を検討していく。

村井ひでき ミニプロフィール

昭和55年さいたま市生まれ。浦和区在住。41歳。
家族：妻・長男（6歳）
二男（4歳）三男（1歳）。
浦和市立別所小学校卒業。
東京大学卒業後、財務省入省。
ハーバード大学大学院修了。
平成23年財務省退官（主税局参事官補佐）。
平成24年12月初当選。現在3期。

